

国際オゾンシンポジウム — 札幌2000 — 発表論文募集

国際オゾンシンポジウム日本組織委員会

前回(「天気」1998年10月号)お知らせしたように、来年7月に次期国際オゾンシンポジウム(4年毎に開催)を北海道大学を会場にして開催します。オゾンシンポジウムという名前からも明らかなように、大気オゾンに関するあらゆる分野の研究発表を募集いたします。

1. 主催：国際オゾン委員会 (IOC)
2. 後援：WMO, IAMAS, 日本気象学会, 宇宙開発事業団他
3. 期日：2000年7月3日(月)～8日(土)
4. 会場：北海道大学 学術交流会館他
5. 内容：前回の案内でもお知らせしたように、シンポジウムの主なテーマとして、

- ① オゾン全量およびオゾン高度分布の観測と解析
- ② 観測手法, 相互比較観測
- ③ 対流圏オゾン—過去および将来のオゾン収支・長期変動
- ④ オゾン化学に関連した大気微量成分の観測およびそれらの収支
- ⑤ オゾン化学
- ⑥ モデル研究—力学・化学結合モデルによるシミュレーション等
- ⑦ オゾン変動と気候変動
- ⑧ オゾンと太陽紫外線放射

等があげられます。シンポジウムでは、2会場を用いた口頭発表セッション、その後1会場でのポスターセッションをほぼ毎日実施する予定です。

なお、応募論文の発表セッションと発表形式(口答、ポスター)に関しての最終的な決定は、プログラム委員会が行います。

6. 各種締め切り期日等

- i) Abstract：1999年12月15日
- ii) Extended Abstract：2000年5月20日
- iii) 参加登録(第一次)：2000年5月20日
以後の登録も可能(参加費用に差あり)
- iv) 宿泊受付：2000年5月20日

7. 発表申し込み

講演要旨は、テキスト形式の電子メールでのみ、受け付けます。書式に関してはオゾンシンポジウム・ホームページで確認して下さい。

8. 参加費

- 一般： ¥35,000 (2000年5月20日以前)
¥42,000 (2000年5月21日以後)
同伴者 ¥6,000 (2000年5月20日以前)
¥10,000 (2000年5月21日以後)
学生 ¥12,000

参加費には、シンポジウムすべてのセッション、行事(歓迎夕食会を含む)への参加費用が含まれています。また、シンポジウム・プロシーディングス(Extended Abstract集)1部の費用も含まれます(当日配布予定)。

9. 問い合わせ先および Abstract 送付先

オゾンシンポジウム組織委員会事務局

柴崎 和夫

宇宙開発事業団 地球観測データ解析研究センター
〒106-0032 東京都港区六本木1-9-9

六本木ファーストビル 14F

Tel：03-3224-7008, Fax：03-3224-7051

E-mail：ozone@eorc.nasda.go.jp

10. その他

- (1) 事前参加意志確認登録の締め切り期日は既に過ぎていますが、下記のホームページで確認の上、登録を行って頂けると助かります。初回、第2回のサーキュラーも載っています。ホテルの情報等も随時掲載していく予定です。

オゾンシンポジウム(札幌2000)ホームページ

<http://www.eorc.nasda.go.jp/AtmChem/O3symp/>

- (2) 札幌2000—組織委員会(日本)

委員長：小川利紘(NASDA/EORC)

委員：伊藤朋之(気象庁), 岩上直幹(東大),

内野 修(気象庁), 川平浩二(福井県立

大), 神沢 博(環境研), 近藤 豊(名

大), 笹野泰弘(環境研), 塩谷雅人(北

大), 柴崎和夫(國學院大), 高橋正明(東

大), 中根英昭(環境研), 長谷部文雄(茨

城大), 林田佐智子(奈良女子大), 牧野

行雄(気象研), 宮原三郎(九大), 山崎

孝治(北大)